

国立精神・神経医療研究センター病院にて 血液浄化療法をされた方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院で、血液浄化を行った際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2026 年 6 月から 2026 年 8 月までに、国立精神・神経医療研究センター病院で血液浄化を受けた方

のうち、以下のすべてに該当する方を対象とします。

・血液浄化療法を静脈・静脈穿刺（VV 穿刺）により受けた方

・診療録および血液浄化装置の機器ログから、血液浄化の施行条件、アラーム発生状況、

バスキュラーアクセストラブル等の研究に必要な情報を取得できる方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

なし

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：血液浄化療法施行時バスキュラーアクセストラブルの後方視的観察研究

研究期間：研究実施許可受領後から 2027 年 4 月 30 日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター病院

手術部・医療機器中央管理室

宮留 優也

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

本研究では、以下の情報を利用します。

項目	観察時点
研究対象者背景 (年齢、性別、診断名、基礎疾患)	診療録・電子カルテより収集
血液浄化施行条件	各施行時の記録より収集
アラーム発生状況	各施行時の機器ログより収集
バスキュラーアクセストラブル	各施行時の診療録・看護記録・CE 記録より収集
対応内容	各施行時の記録より収集
治療への影響	各施行時の記録より収集

(取得方法) 診療録・機器データから入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター病院

所属: 手術部・医療機器中央管理室

氏名: 宮留 優也

電話番号 : 042-341-2711 (内線: 3805)

e-mail: miyadome※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)